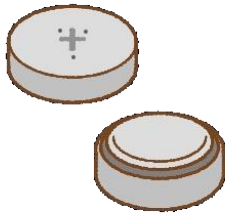


Q・023

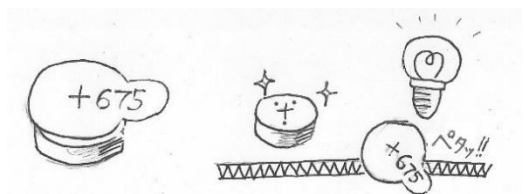
補聴器、人工内耳の電池で
気をつけることはありますか？



<補聴器・人工内耳の電池について>

補聴器、人工内耳の電池は「空気電池」です。シールを剥がすと、空気穴から酸素が入り、使えるようになります。そのため、剥がした直後は電池が作動しないことがあります。30秒～1分程度待つと良いでしょう。

シールをはがした空気電池は、使っていないだけでも消耗します。使わないときは、最初に貼ってあったシールを貼っておきましょう。そうすることで、電池の消耗を抑えることができます。セロハンテープなど他のテープを貼ると、不具合の原因となることもあります。気をつけましょう。



電池のサイズによって、青、オレンジなどシールの色が違います。使っている電池のシールが何色が覚えておきましょう。

電池には期限があり、電池のもち具合に影響する場合があります。購入する際に確認するようにしましょう。

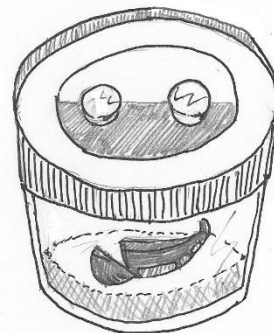
冬は、電池が消耗しやすい季節です



○気温が低いと消耗しやすくなります。
→予備の電池を用意しておきましょう。

*気温が低いと、電池が機能しないことがあります。「きのう電池を替えたばかりなのに、補聴器が聞こえない」という際、体温などで電池を暖めると使えるようになる場合があります。（何日か使用した電池は、暖めても回復しません。）

○乾燥すると消耗が早くなります。
→補聴器と一緒に乾燥ケースに入れられないように注意しましょう。



○せまい部屋にたくさんの方がいたり、閉め切った部屋で石油ファンヒーターなどを使ったりすると、電池が劣化しやすくなります。空気中の二酸化炭素が多くなり、酸素が少なくなるからです。

→十分に換気することが大切です。



<空気電池を捨てるときの注意点>

以下のことを守って、安全に処分してください。

- ① 乾電池や他のボタン電池などの電池と一緒に捨てないでください。



- ② 必ず1つずつセロハンテープでぐるりと囲むように巻いてください。

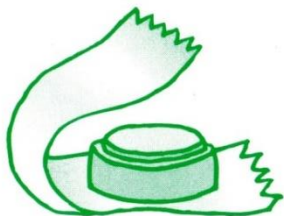
(テープを巻かずに複数個、袋や箱などに入れて捨てるおそれがあります。複数個重ねてセロハンテープで巻くのも危険です。)



- ③ 空気電池はリサイクルができます。(補聴器の販売店で回収しています。)

✿ 電池回収してます ✿

環境保全のため安全な回収にご協力を!



電池の表面にセロテープを貼り、絶縁してお持ちください。